

コミュニケーション・オン・プログレス（COP）

COPの対象期間：2020/4/1 ～ 2021/3/31

1. 最高経営責任者による継続的支援の表明

ステークホルダーの皆様へ

私は、ここに株式会社ビジネスコンサルタントが国連グローバル・コンパクトの人権、労働、環境、および腐敗防止に関する10原則を支持することを再度表明します。

当社はSDGsと国連グローバル・コンパクトおよびその原則を、事業戦略や企業文化、日常業務により一層浸透させるべく継続した取り組みを行ってまいりました。この年次のコミュニケーション・オン・プログレスにおいて、その取り組みについてご報告いたします。また、当社の主要なコミュニケーション媒体を通じて、当社の取り組みを積極的にステークホルダーの皆様にご紹介してまいります。

代表取締役社長執行役員 横関 哲嗣

2. 取り組み状況

◎包括的な活動として、

- ・昨年度に続き、全社をあげて、お客様組織がサステイナブルな組織を構築するためのサポートと、社内でのサステイナビリティ推進の取り組みを進めた。
- ・2020年度は、新たに20代30代の若手社員を主軸とした約50人(全社員の1/8)で2040年の社会の中でのサステイナブルな我社の在り方について、10カ月をわたり将来を考えていく“New Frontier Project”を立ち上げた。2021年12月に報告会を予定している。
- ・若手社員を対象として、サステイナビリティの自分事化をテーマにした対話のワークショップを4回シリーズで実施した。
- ・The Natural Step Internationalの承認を得て、日本でのメンバー組織となった。
- ・サステイナビリティを企業経営に統合するためのツールFuture-Fitビジネス・ベンチマークを広めるためにGCNJのSDGs分科会にてワークショップを開催した。
- ・Future-Fitビジネス・ベンチマークのパイオニア企業として宣言するための組織的な取り組みを始めた。
- ・コロナ禍の中で、社員のWell-Being充実のために、新しくコミュニケーション活性化施策として“*ほっこり温泉”を企画・実施した。
*ほっこり温泉；リモートで対話を進めていくオリジナルワークショップ

人権

☆従業員に安全で適切、かつ衛生的な労働環境を提供する。

特筆施策；

- 本社を始め、多くの事業所での喫煙場所を排除した。
- 本社で個々のゴミ箱を廃止し、資源ステーションとしてまとめてゴミの発生を制御して、さらに、社員の当番制で清潔に管理して意識の向上を図った。

☆職場における嫌がらせ、例えば、肉体的、言語的、性的、心理的嫌がらせなどから従業員を守り、虐待や脅迫からも守る。

特筆施策；

- 従業員向け相談窓口を設置と周知の徹底を図った。
- 社内で全社員を対象にパワハラに関する勉強会を実施した。

労働

☆いかなる形においても、強制労働、債務労働を課さない。

☆最低賃金の水準を守る。

☆雇用関連の決定は、適切かつ客観的な基準をもとに行う。

これらの遵守に努めた。

特筆施策；

- コロナ禍の中での、基本は在宅勤務として、労働時間が超過しないよう管理に努めた。
- テレワーク拡大により働き方に見合った規程の見直しを実施した。
- 規程の改定の際は、必ず社労士などの専門家の情報を確認している。

環境

特筆施策；

- 移転後も継続して、本社に資源ステーションを設置し、リサイクルする資源、燃やす資源、燃やさない資源等に細かく分類の仕組みを構築している。
- 地震や津波などの災害時に対してBCPの一環として、本社で50名の3日間の食糧・水の備蓄を実施。
- 研修資料で使用する紙をFSC認証のものに変更した。
- グリーン購入法適合商品を始め、環境にやさしい製品の利用に努めた。プラスチック製のクリアファイルの研修での利用を2020年度に完全に廃止した。

腐敗防止

☆社内におけるさまざまな手続きが、会社の腐敗防止のコミットメントに沿うものとなるようにする。

- 新規取引先との取引条件として、暴力団等反社会的勢力との取引がないかを確認している。

3. 結果の測定

- 女性の産休の取得、復職者は継続して増加傾向。男性の育休取得者は未だいない。
- 紙の資料の適正数依頼の徹底、再利用の促進により、コスト的に下がった。
- 本社移転を実施したことにより、本社の使用電力量(料金)が1/3になり、CO2の削減に貢献した。
- コロナ禍の影響もあり、車のCO2排出量が減ったかと予想されたが、自動車の走行距離は昨年度と比較して118,833km、CO2排出量で29,660(kg-CO2)増加した。

SDGsとの社内での主な取り組みとの関連表

No	取り組み内容	SGDs の関連するゴール
1	健康経営の推進（健康診断の100%受診他）	3
2	運動不足解消策として池の平ホテルと連携し運動動画配信を実施	3
3	外部相談窓口を設置することでメンタル面のフォロー体制の確立	3
4	Well-being に関するプログラムを社員向けに実施	3, 4
5	Well-being に関するプログラムを開発し、お客様へ提供	3, 4, 8
6	“New Frontier Project”の立ち上げ	4, 5, 8, 17
7	サステナビリティのノウハウを先進事例に学び、顧客に届けている *Future-Fit ビジネス・ベンチマークの公開(GBGP)の実施	4, 8
8	社員への様々な学びの機会の提供（ウェビナー・ワークショップの実施）	4, 8
9	ライセンス、Biz-Ex、UMU など非稼働商材の拡充と拡販	4, 13
10	GBGP でサステナビリティに関する情報を発信している	4, 10, 17
11	お客様用プラファイルの全面廃止	12
12	公開講座内でのペットボトル使用を廃止	12
13	お客様用バックをエコマーク基準を満たした布製に変更	12
14	資源ステーションの設置によるゴミの分別	12
15	本社、ペットボトル利用削減のためにウォーターサーバーの導入	12
16	段ボール使用を減らすため、再利用可能なプラケースを利用	12, 15
17	研修資料に FSC 認証紙を使用、環境に配慮したベジタブルインキを利用	12, 15
18	社内業務とお客様へのプログラム提供で ZOOM 等の Web アプリの活用	13
19	サステナブルフードの積極的利用	13, 14
20	社外のサステナビリティに関する団体(GCNJ, JCLP 等)との積極的な交流	17
21	The Natural Step International の承認を得て、日本でのメンバー組織となった	17

以上



This is our **Communication on Progress** in implementing the principles of the **United Nations Global Compact** and supporting broader UN goals.

We welcome feedback on its contents.